

職員による自己評価

A環境面  
適切である

B児童への支援内容  
支援終了後、アセスメントツールをうまく利用出来ていない

C関係機関との連携  
学校との連携は取れているが他の機関との連携は不足

D保護者への説明責任・信頼関係  
保護者への相談・悩み等に対する相談支援は行われているが、保護者同士の連携支援は不足

E非常対応  
非常災害に備えた訓練を定期的実施している

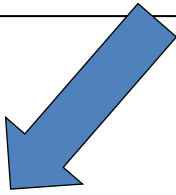
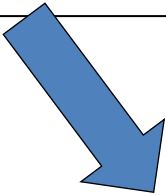
保護者による評価

A環境面  
バリアフリー化の配置はできていない

B児童への支援内容  
放課後児童クラブや児童館との交流が少なく、健常児との関わりは不足

C事業所からの情報発信  
父母会が必要とは思わないが、保護者会の開催はない

E非常対応  
避難訓練は定期的に行ったという報告を連絡帳・アニマート菊名通信にて知らせてもらっている



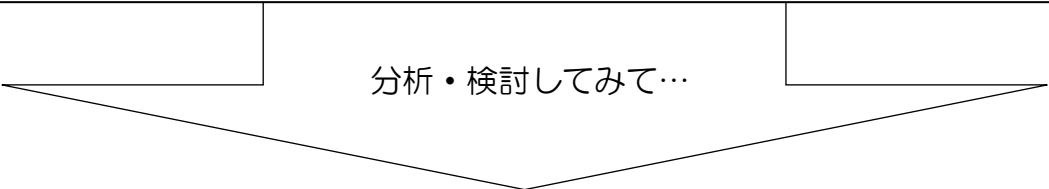
事業所内での分析

**【共通点】**

1. 父母会・保護者会の支援がされていない。
2. 健常児との交流の場を持っていない。

**【相違点】**

1. バリアフリー化について職員は現状での環境面で必要性はないと判断している。  
身体面でバリアフリーを必要とする子供がいない為、エレベーターでの移動で十分と考えている。



### 事業所の強み

- ・“元気にいきいきと”がアニマートのテーマです。
- ・子供たちが様々なプログラムをあきないように取り入れ、次の行動へ気持ちの切り替えがスムーズに移行出来るように。  
一日の流れの中に【静・動】のプログラムを交互に入れ子供の意識レベルが下がらないようにしています。
- ・利便性がよいため、地域資産の活用ができ、季節に合った行事への参加を行います。  
(神社豆まき・商店街のハロウィンウォークラリー・目の前の港北図書館での行事) など
- ・音楽(リトミック)ダンスの先生も招聘。

### 事業所の改善点

- ・職員研修の充実が十分とは言えないが放課後等デイサービスのガイドラインの読み合わせを年2回行う。
- ・29年4月よりニュースレターとして月に一度のお便りを発行、QRコードにて450枚の写真を閲覧できる工夫を実施  
(パスワード設定による)  
保護者の閲覧回数は毎月100回以上となる
- ・昨年度は、避難訓練は春・秋、1週間の訓練期間を設計し全員が一回は訓練を経験出来るようにした。
- ・職員のストレスチェックを実施。

### 事業所の改善への取り組み

- ・年1回のクリスマス会だけでなく保護者会を開く、保護者の方は父母会や保護者会の必要性を個人面談で確認してもそれほど感じているように思わない。年1回のクリスマス会での様子で満足して下さっている保護者もあり、今後必要に応じて開催を考えたり、この夏お泊り会を開くとともにその説明会として保護者会を開催したいと考える。
- ・月に一度のニュースレターの発行を継続
- ・緊急時連絡網の実施
- ・ヒヤリハットの研修会を増やす
- ・HPでのblog更新を適宜お知らせ
- ・職員個人面談並びにストレスチェックの実施 など継続

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

昨年、保護者の方のご意見に沿って改善した事が評価されていました。

引き続き誠実に対応していきたいと思えます。

職員の入れ替えが若干ありましたが、現在の職員間の人間関係は安定しており

支援のためのスキルアップを主に力を入れて

職員と共に働きやすい職場を目指していきます。

それが保護者の方々に安心してもらえることと感じています。

2017年度利用

児童デイサービス・アニマート菊名

管理者 山崎 珠美